

2024年 3月 29日

2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 公益財団法人京都 YWCA

ホーム名 カルーナ

代表者・役職名 氏名 山本知恵(施設長)

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

トラウマの眼鏡を上げよう！(トラウマインフォームドケアの理解を進め、支援者・協力者を拡げる)

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

京都 YWCA は女性が中心となって運営する市民団体です。一人一人が大切にされる「共に生きる世界」を目指して様々な活動を行っています。2015年に自立支援ホーム「カルーナ」を開設し、社会的養護が必要な女子に安全かつ安心して生活できる居場所を提供し、就労支援等を行っています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

社会的養護を必要とし、そこから自立して地域社会で生きていく若者は、ドクターやケースワーカーといった支援者ではない大人との関わりが増えていきます。入居前、入居中、退所後に日常生活をとりまく大人がそれぞれの立場で、「もしかしたらトラウマを抱えているのかもしれない」という前提で一人ひとりの存在と生き方を受け止め承認していく社会になっていく必要があります。トラウマインフォームドケアの学びを通して、自傷、他害、解離等のトラウマ症状、PTSD 症状を理解したかかわりができる人を一人でも多く増やし、社会的養護の若者が孤立せずに生きやすい環境を整えていきたいです。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ① 映画「プリズン・サークル」上映会 + 心理治療やトラウマケアワークに関するディスカッション(講師とともに)
- ② 学習会(全6回)
 - 「トラウマを理解したケアについて学ぼう」
 - 「PTSD を理解し、日常の支援に活かす対処を考えよう」
 - 「境界線について考えよう」
 - 「セルフケアー感覚や感情を味方にして自分の中に大丈夫感を育てていこう」
 - 「解離について知り、解離に悩む当事者の日常生活の困難を理解しよう」
 - 「日常のかかわりを治療的にしようー回復共同体アプローチからー」
 - 「トラウマインフォームドケアと支援者支援～トラウマを負う人に向き合うために～」
- ③ ケアワーク検討会(全3回)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「トラウマケアの眼鏡を上げよう！」というテーマで実施し、支援者にかかわらず一般へのトラウマインフォームドケアの理解促進に努めました。結果は予想を上回る参加者があり、ボランティアとして若者の支援に関わりたい方、心理学専攻の大学院生、心理士として働き始めた方、友人のメンタルヘルスを気にかける大学生、自立援助ホーム職員、児童相談所、精神科医などの一般から専門家、そして行政まで幅広い参加者層でした。無料で開催することで参加へのハードルが下がり、多くの人への促進につながることができました。

- ・上映会「プリズンサークル」+講演 参加人数 75名
- ・トラウマインフォームドケア連続講座（全6回）参加人数延べ 236名
- ・ケアワーク検討会(全3回) 参加人数延べ 38名

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

交通費の都合上、オンライン開催を中心としたが、参加者や講師からは対面の希望もあったので、より体験的になるような実施方法を検討したいです。専門性を活かし多くの講師に協力をいただいたが、日程調整に時間がかかり、広報と申込を何度かに分けたり、参加者の手間を増やす形となってしまいました。支援者や身近にいる大人が社会的養護をはじめとした生きづらさを抱える若者との関わりに、トラウマインフォームドケアのアンテナを張ってもらい再トラウマを生まない機会を提供できたので、これを踏まえ、当事者と共に“サークル(対話の場)”をつくれる自立援助ホームを増やし、トラウマを抱えても生きやすい環境を整えていきたいです。

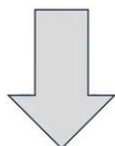
7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



人間関係の中で生じる深刻な境界線の侵害 関係性トラウマ



境界線の侵害



トラウマ

※ 影響の受け方、現れ方は、
その人の持つ経験や資源による

トラウマになりやすい体験

- 身体的な攻撃
- 心理的な攻撃
- 屈辱的な体験
- 裏切られた(と感じるような)体験
- いじめ、仲間外れ(疎外感)
- 性暴力、性的ハラスメント
- 差別
- 大切な人との関係が絶たれる/失う体験
- 精神的なサポートの欠如
- 感情やニーズが無視される体験(情緒的ネグレクト)

The screenshot shows a Zoom meeting interface. The main slide is titled '成人歴・使用しているサービス' (Adult History / Services Used) and is for a person '現在20歳' (Currently 20 years old). The slide content includes:

- 保健・医療** (Health/Medical): A box with '??'.
- 療育手帳** (Therapeutic Handbook): Includes '子どもシェルター 弁護士(代理人) 接近禁止 児童相談所 (社協の日常生活自立支援事業)'.
- 自立援助ホーム** (Independent Support Home): '「障害」マイノリティとトラウマ'.
- OD, リストカット, 飲酒** (OD, List-cut, Alcohol): '「障害」への拒否感 支援者が困っていることは? 問題行動は? 姉との関係? 金銭管理'.
- 祖母、父、母、兄、兄の妻、<姉(双子)>** (Grandmother, Father, Mother, Brother, Brother's Wife, <Sister (Twins)>).
- 姉(双子)** (Sister (Twins)).
- 福祉** (Welfare).
- 地域** (Community): 'YWCA 地域の居場所支援 子ども園に就職 特別支援学校卒業'.

The Zoom interface shows a grid of 12 participants. The bottom toolbar includes controls for mute, video, security, participants, screen sharing, and other meeting functions. The system tray at the bottom shows the date and time as 2024/03/13 13:52.

トラウマインフォームドケア連続講座(全6回)

初めて学ぶ方から
参加できます!

トラウマの眼鏡を広げよう

隣にいるわたしが“言葉にならない声を聴くために”

第1回目

「トラウマを理解したケア について学ぼう」

- 日時：8月2日(水) 13時～15時
- オンライン開催
- 参加無料

こころの傷は外から見ることはできませんが、傷ついた時の反応を捉えることはできます。人との関わりに難しさを抱える場面で、“困った人”や“問題行動”と見える背景には何があるのでしょうか? 「もしかしたらトラウマの影響があるのかな?」という視点を加えることで、誰もがこころの傷に気づき、ニーズに合わせた手当てができること、そして支援者も自身の状態を自己覚知し、トラウマに対応できる安心で安全な組織づくりについて学んでいきます。

第2回目

「PTSDを理解し、日常の支援 に活かす対処を考えよう」

- 日時：8月7日(月) 15時～17時
- オンライン開催
- 参加無料

トラウマによって生じる反応は人それぞれ異なりますが、PTSD(心的外傷後ストレス障害)症状のように共通してみられる反応もあります。PTSDはトラウマ体験の精神的後遺症の全てを指すものではありませんが、PTSDメカニズムを知り、理解することで、トラウマに適切に対処する手段に広がりを持たせることも期待できます。トラウマの専門的な治療ではなく、日常生活の中で対人援助を担う人ができる適切な対処について考えていきます。

講師：吉田 博美さん

〈講師プロフィール〉

現職：駒澤大学学生支援センター 常勤カウンセラー

臨床心理士、公認心理師、博士(学術)

米国ペンシルベニア大学不安障害治療研究センター認定 Prolonged

Exposure Therapy スーパーバイザー/セラピスト。

単科精神科クリニック心理士、総合病院精神科心理療法士、武蔵野大学心理

臨床センター主任相談員などを経て、現職。性暴力・性的虐待の被害を受けた若者や成人を対象とした心理的支援及び心理療法を専門としている。

こちらのQRコードから、
お申込みください。



主催：京都YWCA(自立援助ホーム「カルーナ」事業部委員会)

この講座は真如苑の助成金を受けて実施しています。

お問合せ先：〒602-8019 京都市上京区室町通出水上ル近衛町44 公益財団法人京都YWCA

tel:075-431-0351 mail:office@kyoto.ywca.or.jp